

れんごう

2012. 3. 22
第 4 号 通算 174 号
日本労働組合総連合会新潟県連合会
県央地域協議会
(連合県央地協)
〒955-0044 三条市田島2丁目22-36
Tel 0256-32-6363 Fax0256-32-6490

2012 春季生活闘争総決起集会開催



3月8日(木) 18:30~リサーチコア7Fマルチメディアホールで2012春季生活闘争総決起集会を開催しました。依然として厳しい景況や危機感を反映して、会場いっぱいの344人の参加がありました

主催者として海津副議長は「地場の景況については回復感が出てきているが、先行き不透明感が払しょくされず依然として厳しい状況。労使で一体感をもって厳しさにあたるためにも、経営側はこれまでの社員の協力や貢献に応えるべきだ。春闘交渉の意義を再認識し、地域の未組織労働者の処遇改善へ波及させるためにも、断固とした姿勢でのぞもう」と連帯を呼びかけました。連合新潟の佐藤副会長から「労働者の年収は大きく減

少したままだ。地場中小の多い県央エリアの春闘に期待している。復元をめざしてそれぞれが地域から粘り強く交渉しよう」と激励があり、9産別の代表から「賃金構造維持相当分を確保し、業績見合いでさらに改善を勝ち取る」「制度昇給の確保と世代間の是正をはかる」「パートを含めた賃金改善めざす」公務部門からは「春闘情報の共有をはかり地場の春闘交渉を強力に支援していく」など力強い決意表明がありました。その後「地場で働くすべてのなかまの総力を結集し、最後まで闘おう!」としたアピールを全員一致で採択し、団結ガンバローで締めくくりました。

「雇用と暮らしを守るため」最後まで粘り強い交渉を展開しよう!



2012 第1回単組代表者会議(春季生活闘争 関連)を開催

決起集会に先駆け、2月24日(金) 燕三条地場産センター(マルチメディアホール)で2012第1回単組代表者会議を開催し、連合新潟から榎本副事務局長を招き、連合新潟の方針の説明を受けました。11産別、32単組が参加して、「2012春季生活闘争」についての要求の概要、重点取り組みの報告の後、各単組の代表者からは「年間休日増の取り組みについて」「賃金構造維持の意味、賃金制度の有無はどうか」「パート、非正規社員の処遇改善、正社員登用の取り組み」など積極的な意見交換がありました。「賃金構造維持の確保+目減りを続ける賃金や厳しい処遇の改善」に向けて2012春季生活闘争に向けて粘り強い交渉を確認しました。



働く者の処遇改善を訴えイオン県央店前で「街頭行動」実施

3月17日(土) イオン県央店前交差点で「県央エリアで働くすべての者の雇用安定と賃金や処遇改善」を主題に街頭行動を実施しました。

「地場の景況は依然として厳しいが、安心して働き、暮らし続けられる賃金と休日増を!」「基準法を順守!」を訴え、高倉さかえ県議も応援に入り、暮らしの安定と救命救急センターの早期設置に向けて全力で取り組むことをアピールしました。

私たち連合は、パート、派遣社員、地域の未組織労働者の処遇改善にも全力を尽くします。



今後の予定・お知らせ

第83回メーデー

5月1日(火)9:00~
西蒲原地区・三条地区・加茂地区の
3会場で開催
たくさんの参加をお願いします。

アジア・アフリカ救援米田植え

5月13日(日)
会場: 三条市上林小学校前 公民館

菊田・わしお衆議院議員

との意見交換会
5月中、下旬(土・日)

＜春季生活闘争関連要請＞

経営団体、労働行政へ賃金・処遇改善・雇用安定・法令順守などを要請

《燕商工会議所》

3月13日（火）燕商工会議所を訪問し、笠原専務理事に対して、燕エリアの事業所における雇用安定や賃金処遇の他、産業カレンダー（105日）の改善に労使で取り組むよう要請をしました。求人の募集や、60歳以降の働き方についても意見交換をしました。



＜燕商工会議所＞

《三条商工会議所》

3月13日（火）三条商工会議所を訪問し、斎藤会頭、木村専務理事に対して、賃金や処遇など人的投資の視点、地場産業の活性化に向け労使での知恵だし、労働相談事例の実情を説明し、労働関連法の順守の徹底などについて要請と意見交換をしました。また、経営側に労働組合の認識、理解を深めてもらうため、連合作成の「労働組合についての企業経営者向け資料」を配布し、労働組合の有益性など基本的な説明も行いました。



＜三条商工会議所＞

注：《加茂商工会議所》は日程調整中です。

《巻・三条 ハローワーク》

3月13日（火）に巻ハローワーク（飯田所長）16日（金）に三条ハローワーク（平田所長）をそれぞれ訪問し、新卒者や途中退職者など、休職者に対する具体的で有効な就労支援策の実施を要請しました。また、ハローワーク行政に関する労働相談の実例を説明し、採用時の契約書・労働条件通知書などの明示の徹底、雇用保険の適用逃れなどについて指導強化を要請しました。



＜巻ハローワーク＞

《三条労働基準監督署》

3月16日（金）、県央エリアを管轄する三条労働基準監督署に羽賀署長、山田監督課長を訪ね、労働相談事例の実例を報告しました。管内では法令違反事例も増加傾向にあり、不当な解雇や賃金の不払いなど悪質なものについての行政指導の徹底を要請しました。また、労働災害の撲滅、メンタルヘルス対策など意見交換を行いました。



＜三条労働基準監督署＞



◇加茂市、小池市長へ政策制度要請を実施

2月27日（月）小池市長に対して、関川加茂支部長より要請書を渡し、「雇用や労働環境の改善」「県央エリア基幹病院（救命救急センター併設）」「加茂病院存続と拡充」などについて要請を行いました。小池市長と労働行政の他、「加茂病院の充実については市民からの要望も高い。しっかりと取り組んでいく」「ライフサポートセンターの取り組みは評価している」などの意見交換も行いました。



＜加茂市長へ要請書を提出＞

◇「三条市企業活性化懇談会」開催

3月1日（木）「三条市企業活性化懇談会」が國定市長を座長に開催されました。以前から連合として「雇用・労働環境・活性化」などをテーマに、政・労・使が現状認識、課題共有をはかり、具体的な行動に結びつけようと会議体の開催要請をしていたものです。連合からは、安心して働き続けられる環境整備こそ企業や街の活性化に不可欠だとして、まずは雇用安定を最優先課題として、その他「労働基準法違反事例の報告」「産業カレンダー105日の問題」など個別の課題も取り上げました。今後も雇用安定などについて継続開催を予定しています。



◇青年女性委員会 学習会「連合ってなに？」

青年女性委員会（久慈委員長）の今年度の活動の第一弾として、3月16日（金）18:30～県央地協の佐藤事務局長を講師に『連合って何？』と題して学習会を開催し、併せて交流懇親会を実施しました。（25名が参加）ナショナルセンターとしての「連合」や連合新潟の概要説明の後、「県央地協の役割」として以下の項目について、地協活動の実例をあげての学習会となりました。

1. 構成組織との連携と支援 各単組訪問などによる、各個別課題の解決支援
2. 自治体行政・労働機関・経営団体などへの要請と協議など。地域の活性化施策への積極的参加。連合の発信力強化。
3. 労働・生活相談機能の常設化
4. 組織拡大機能として、労働相談などが構成組織と連携し「組合づくり」を支援。

参加者から「県央地協が、労働組合だけでなく、未組織労働者支援や、地域おこしに関わっていることが解った」などの感想もあり、地域に顔の見える連合運動をめざして「地協活動がより重要」となっていることを、参加者全員で認識しました。



その後、交流会を開催し、それぞれの自己紹介や単組のこと、今年度の青年女性委員会の活動についての意見交換など有意義な学習会&交流会でした。